

執筆者紹介

(執筆順、※は編者、社会保障論を学ぶにあたって一言)

- ※河野正輝 かわのまさてる 熊本学園大学社会福祉学部特任教授
序章・終章 I
制定された制度を無批判に、ただ暗記するという態度を捨てて、制度の根幹にある（もしくはあるべきと考えられる）論理を学び取るように心がけてください。
- ※西田和弘 にしだかずひろ 岡山大学大学院法務研究科(法科大学院)教授
第 1 章・第 9 章
福祉専門職としても、市民としても、社会保障に関する知識は不可欠です。一生のうち、社会保障給付を全く受けないという人はいません。アンテナをひろげて、常に関心と問題意識をもって、勉強してください。
- ※中島誠 なかじままこと 内閣府子ども・子育て本部審議官
第 2 章・終章 IV
人が幸せに生きていくために大切なものは、「健康」と「家族」と「仕事」ではないでしょうか。社会保障制度は、まさにこれらを守り、様々な境遇にある一人一人の幸せを実現する役割を有しており、少子高齢化が急速に進む中で、その使命はますます重要になってきています。
- 石田道彦 いしだみちひこ 金沢大学人間社会学域法学類教授
第 3 章・終章 VI
家族や社会、経済の仕組みが大きく変化している今日、社会保障について考えなければならぬ問題は山積みになっています。まずは基本的な考え方を学びましょう。
- ※有田謙司 ありたけんじ 西南学院大学法学部教授
第 4 章
社会保障制度は現在、大きな変動期にあります。社会状況、経済状況、政治状況の変化に関心をもって、社会保障制度を動かす力となっているものにも目を向けるようにしてください。

- たか くら とう いら
高 倉 統 一 熊本学園大学社会福祉学部准教授 第5章
最初は難しいと思っても根気よく本文を読んでください。児童育成事業については教科書であるので内容の細部を書きませんでした。社会批判の目をもって更なる学習をつんでください。
- まる たに こう すけ
丸 谷 浩 介 佐賀大学経済学部教授 第6章
制度の微細を暗記することではなく、本質を理解することが大切です。
- にっ た ひで き
新 田 秀 樹 中央大学法学部教授 第7章
社会保障制度は「人間らしい生活」を営む上で欠くことのできないものです。制度は複雑ですが、細部にとらわれることなく、まずは基本的な考え方を理解するよう努めてください。
- しま ざま めん じん
島 崎 謙 治 政策研究大学院大学教授 第8章
社会保障制度は与えられるものではなく自分たちで築き上げるものです。人口構造や経済基調の変容等を背景に社会保障は今後とも見直しが必要ですが、社会保障の本質を理解しそのあり方について定見をもてるよう努力してください。
- い ながわ ひでかず
伊奈川 秀和 元厚生労働省 終章Ⅱ
社会保障は現代人に必須の教養です。社会保障と何らかにかかわりもない人生は考えられません。現代を皆がより良く生きるため、社会保障と一緒に学びましょう。
- まし だ めん さく
岸 田 研 作 岡山大学大学院社会文化科学研究科教授 終章Ⅲ
社会保障の財政制度は複雑でとっつきにくいという印象があるかもしれませんが、私たちが日々払う保険料や税金が社会保障に使われており、実は日常生活に密着したトピックですので、しっかり勉強してください。
- やま だ しん
山 田 晋 広島修道大学法学部教授 終章Ⅴ
個々の制度にふりまわされず、全体を見て構造を把握するように努力してください。